

報道関係者各位

ポラスグループ 10 年連続グッドデザイン賞受賞 ポラテック(株)本社ビルと個人邸 2 棟

- ・『ポラテック(株)本社ビル“ウッズクエア”』～木組みのオフィスビル～
- ・『Slit House』(個人邸)～スリットから街とつながろう～
- ・『前川の家』(個人邸)～新しい風景の創出～

ポラスグループ ポラテック(株)

ポラスグループのポラテック(株)(本社:埼玉県越谷市 代表取締役:中内晃次郎)が手掛けた本社ビル『ウッズクエア』と、当社デザイナーが設計をした個人邸 2 棟の計 3 点が、2012 年グッドデザイン賞を受賞いたしました。ポラスグループとしては 10 年連続受賞となり、総受賞作品は 20 点となりました。

■ポラテック(株)本社ビル“ウッズクエア”～木組みのオフィスビル～

「木に携わる企業として、木の良さを伝えたい」その思いから「木」の可能性を最新の技術で追求し、木で囲まれた優しく温かみのあるオフィスビルのデザインを実現しました。

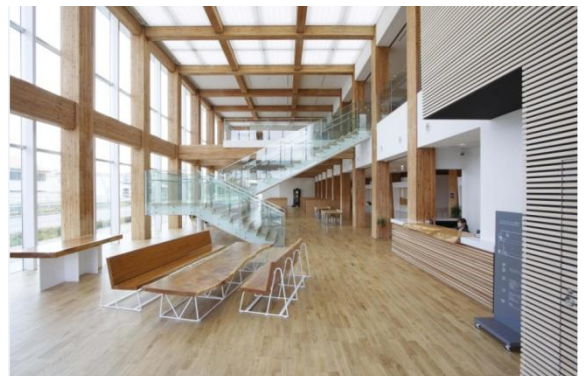


ポラテック本社ビル「ウッズクエア」外観

鉄骨を木で覆い耐火性を持たせた木質ハイブリッド構造
躯体の構造美を露出することにより、木の力強さ、温かさを表現し、従来のオフィスビルの無機的なイメージを払拭しました。

ビル内のハイブリッド木組みの様子を外部からカーテンウォール越しに見せることで、建物の外観から斬新さと美しさを表現しました。

木質ハイブリッド構造を採用した建物では国内最大規模となります。



「ウッズクエア」1F エントランス

木部は国産のカラマツ間伐材を使用し、仕上材やオフィス什器にも国産材を使用するなど国産材の利用促進も図っています。オフィス機能に留まることなく、銘木などの展示室も併設し、近隣の子どもたちへ木の魅力を伝える役割も果たしています。

<審査員の評価>

鉄骨を木で覆い耐火性能を持たせた木質ハイブリッド構造躯体の建物はすでに先行例はあるが、国内ではまだ事例が少なく、本対象が実現しているように、木質系の素材の持つ暖かさや、国内林業の活性化のためにも更なる普及が望まれる。企業理念を体現して木材を積極的に有効に使用しており十分評価に値する。

【ポラテック(株)本社ビル“ウッドスクエア”概要】

所在地	埼玉県越谷市七左町 2 丁目 7 番地
敷地面積	2786.45 m ²
建築面積	1353.51 m ²
延べ面積	6592.63 m ²
施工床面積	6611.63 m ²
階数	地上4階、地下1階
構造	地上 S 造(木質ハイブリッド構造)、地下 RC 造と SRC 造の混構造
材質・産地	長野県東信地方産のカラマツ
設計者・監理者	(株)ジェイアール東日本建築設計事務所 ポラテック(株)ポウハウス一級建築士事務所

■『Slit House』 ～スリットから街とつながろう～

未来を意識し、開放感のある生活、繋がりを持つ住まいをコンセプトに、家族だけの空間で過ごす楽しさも確保し、さらに一歩進んで街や地域との繋がりを楽しむ。「個」だけでなく「集」で生活していく街へ発展できるような住まいを提案しています。

コミュニケーションとプライバシー、現代社会の住環境における課題を捉え、『繋がり』をコンセプトに街に面した部分にスリットを設け住空間と街をつなぎました。外部との接点を設けることで、自然と会話や行動が発生し街との関わりが持てるよう意識した配置にしています。デザインのコンセプトとなるスリット壁がスマートであること、シンボルであることも重視しています。日照・通風も考慮しており、風を巻き込んで住まいの中の空気を動かす、「設備」ではなく「自然」エネルギーを利用するデザインで生活環境を向上させています。



外壁は繋がり・プライバシー・デザインを持つ



Slit から外部と繋がりを持つ



Slit House 内観

<審査員の評価>

都内近郊の住宅地における個人住宅として、街に対する開き方と閉じ方のバランスの重要性について提案されている。街に面した部分にスリットをもうけ、住空間と街をつなぎ止める新しい住宅タイプの可能性を示唆している。

【Slit House の概要】

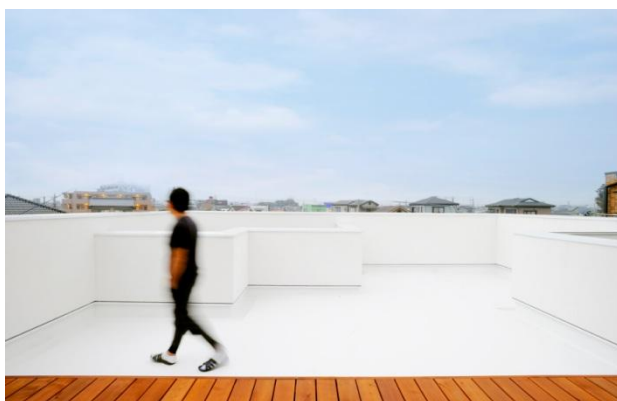
所在地	埼玉県さいたま市
工事種別	一戸建て 新築工事
敷地面積	118.94 m ²
建築面積	61.04 m ²
床面積	1階 57.65 m ² 2階 46.89 m ² 合計 104.54 m ²
構造と規模	木造軸組構造
設計者	ポラテック(株)ポウハウス一級建築士事務所

■『前川の家』～内外において新しい風景を創出～

内外のバランスを重視し、プライバシーが外部に露出せず、安心して生活でき、外からも生活感があるものが見えず、美しい街並みに寄与できる個人住宅を創造しました。

閉ざされた人工的な建物の中で、異質な空間を作らず、有機的で心地よい空間をデザインしました。上に上がれば上がるほど自然光が降り注ぐ、まるで小高い丘の中を散策しているようなスキップ状の空間構成を採用し、屋上テラスが頂上となる開放的で豊かな空間にしています。プライバシーや採光、風向設計による風通しのよい室内を確保し、自然を感じる健康な家を目指しました。

環境や風景といった部分に寄与できるように工夫しながらデザインし、内外において新しい風景を創出しました。個(住宅)の在り方が街並み、風景、環境を形成し、地域文化の向上の一手となることを具現化しました。



小高い丘の頂上にあるような開放感ある屋上テラス

<審査員の評価>

住宅は全てが個人の所有物ではなく、周囲の景観に配慮し、寄与するべき」とする設計思想から導かれた街路に対する開口のバランスと内部のスキップフロア構成が反映された外観を持つ。プライバシーを守りつつも街路との関係を作ろうとする姿勢を評価したい。



前川の家 外観



スキップフロア構成の空間

【前川の家】の概要】

所在地	埼玉県川口市
工事種別	一戸建て 新築工事
敷地面積	165.01 m ²
建築面積	85.29 m ²
床面積	1階 80.32 m ² 2階 70.49 m ² 3階 29.81 m ² 合計 189.62 m ²
構造と規模	木造軸組構造
設計者	ポラテック(株)ポウハウス一級建築士事務所

本件に関するお問い合わせ先
ポラスグループ ポラス(株) 経営企画部 広報チーム
丸岡 青柳
TEL:048-989-9151
FAX:048-987-9271